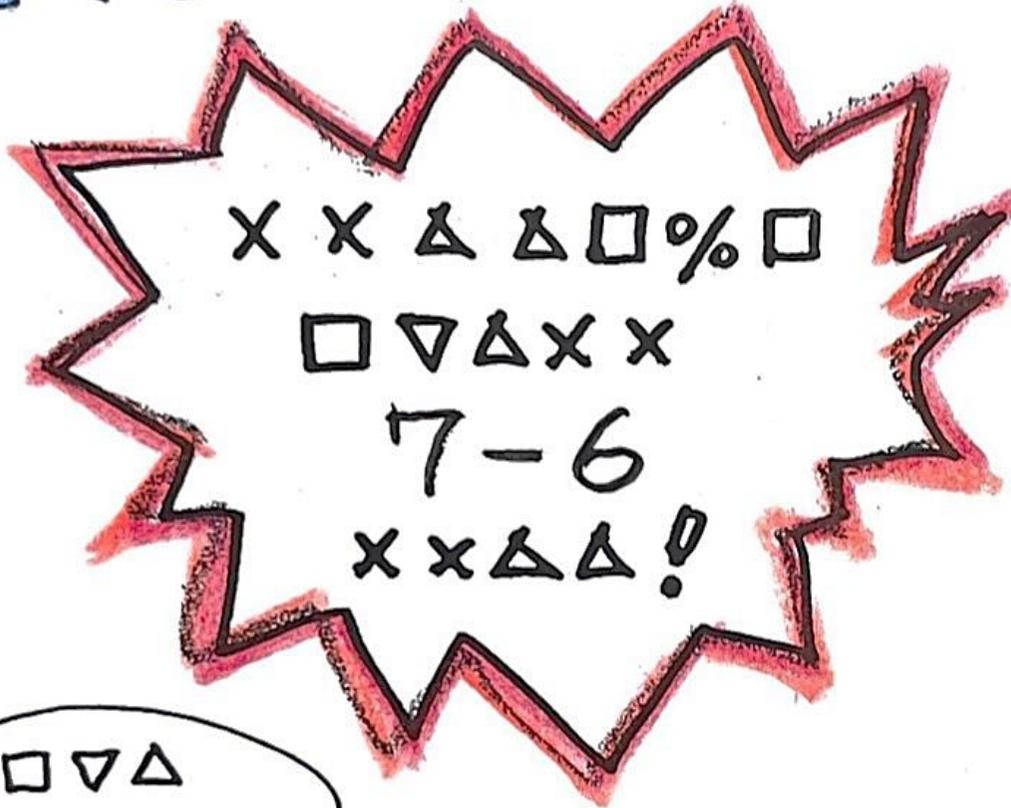
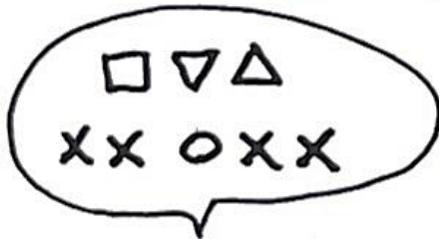


①

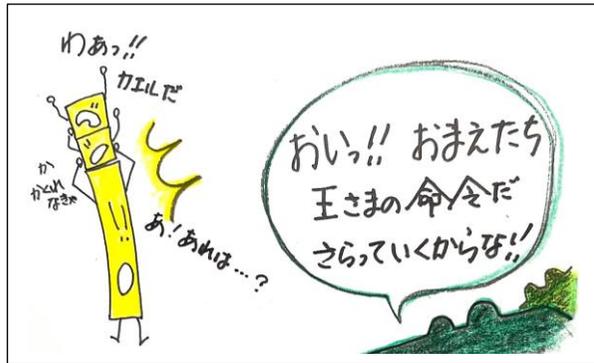
おう  
王さまの命令 <sup>めい</sup> <sup>れい</sup> その4



作 KURASAWA



## ② (①の裏)



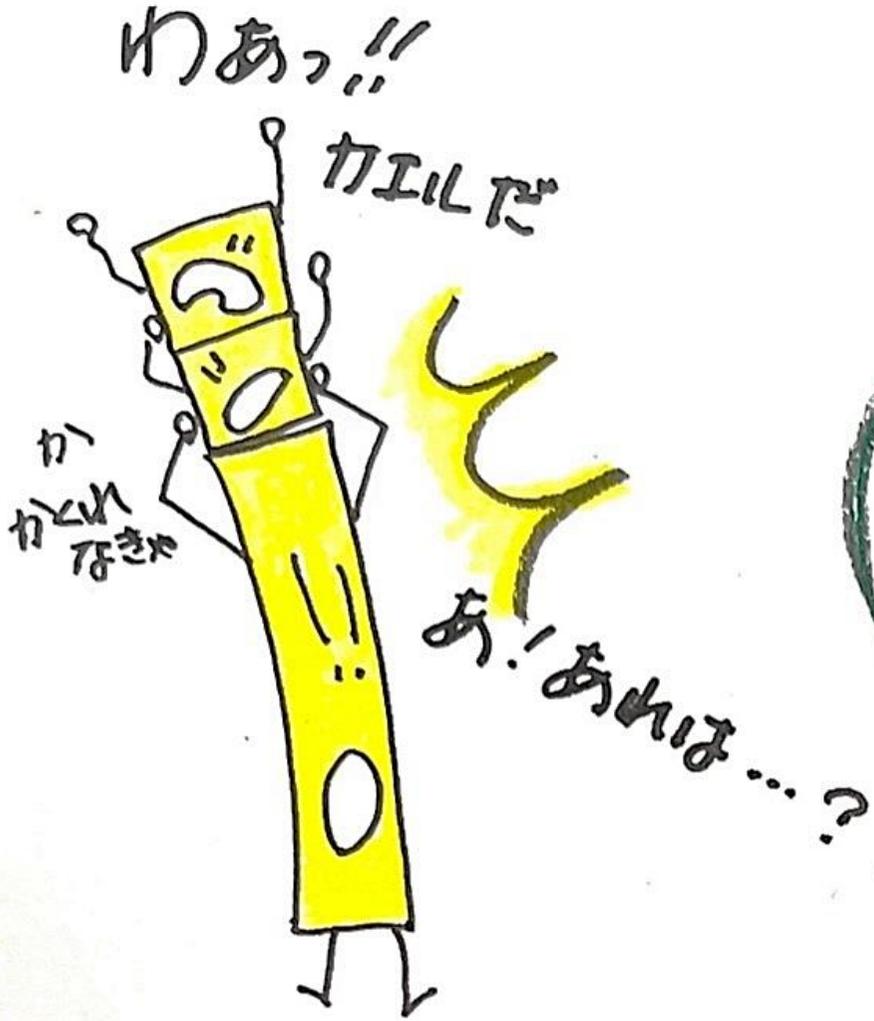
「おい！おまえたち、王様の命令だ。さらっていくからな！」

<ほら、やっぱりね。>

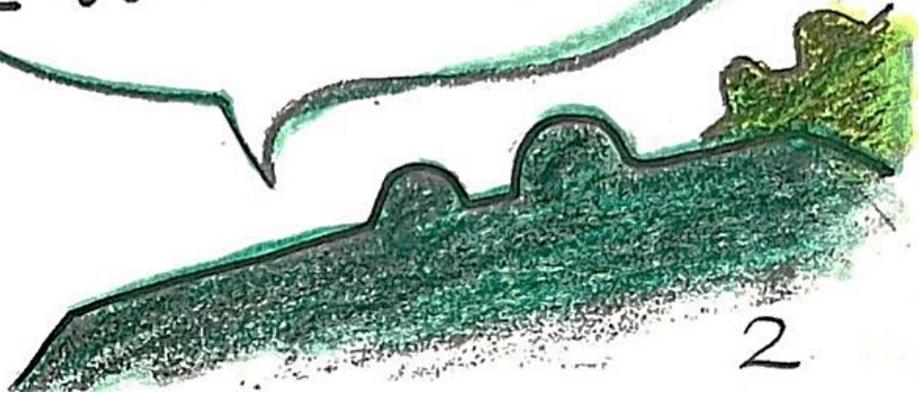
「わあっ！かえるだ。かくれなきゃ！」

「あ、あれは…」

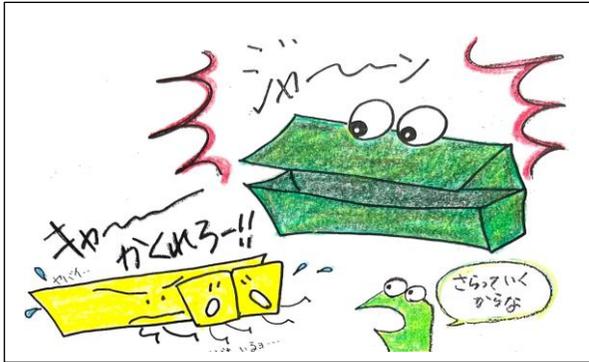
②



おいっ!! おまえたち  
王さまの命令だ  
さらっていくからな!!



### ③ (②の裏)



「ジャン!!」

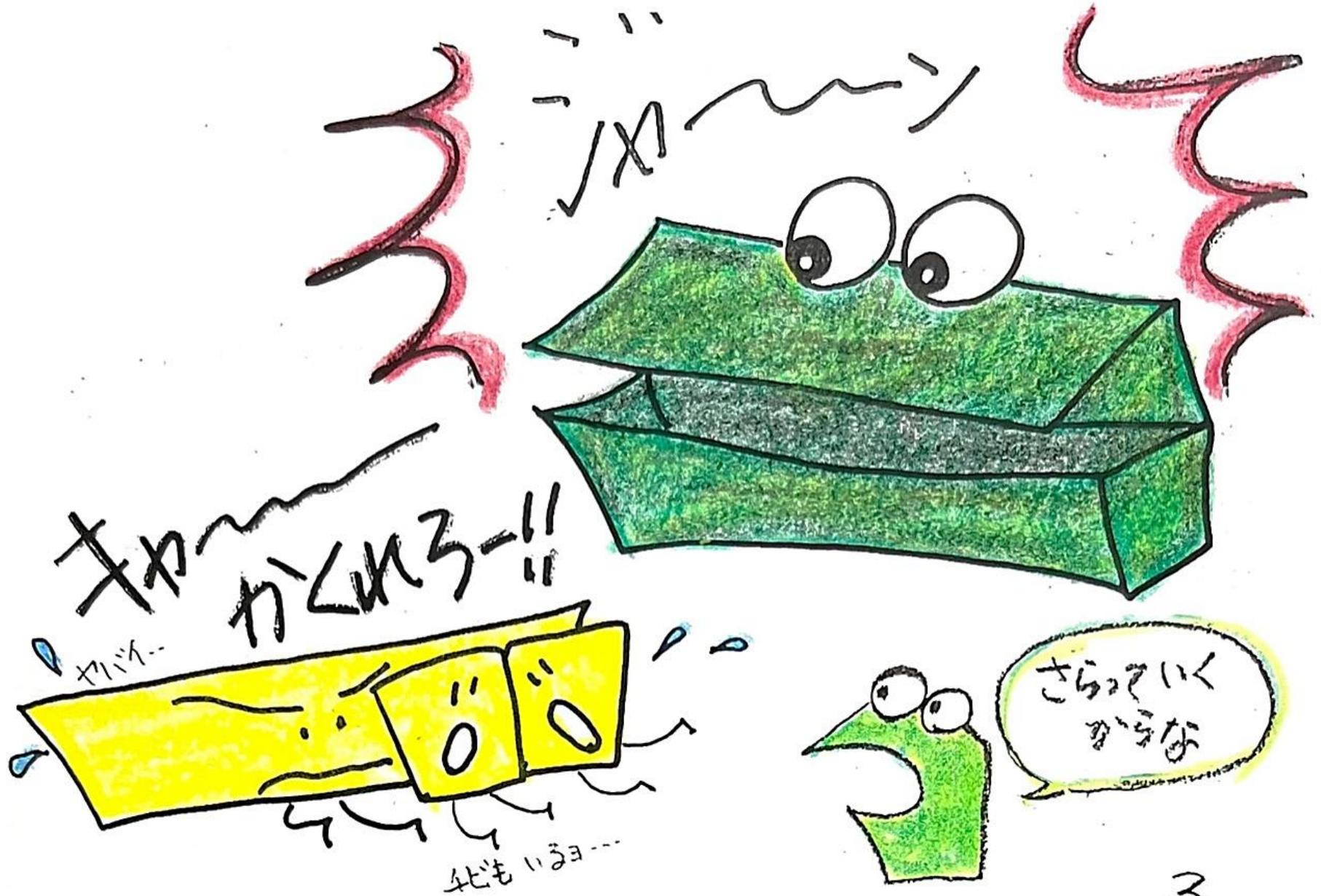
「さらって いくからな。」

「きゃー、かくれろー！」

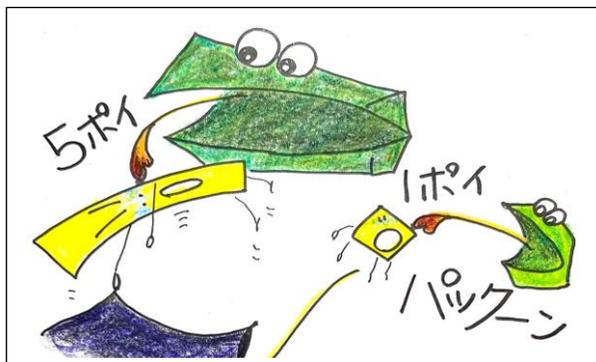
<でたね、デカガエル。>

<5ポイ、1ポイだね。>

③



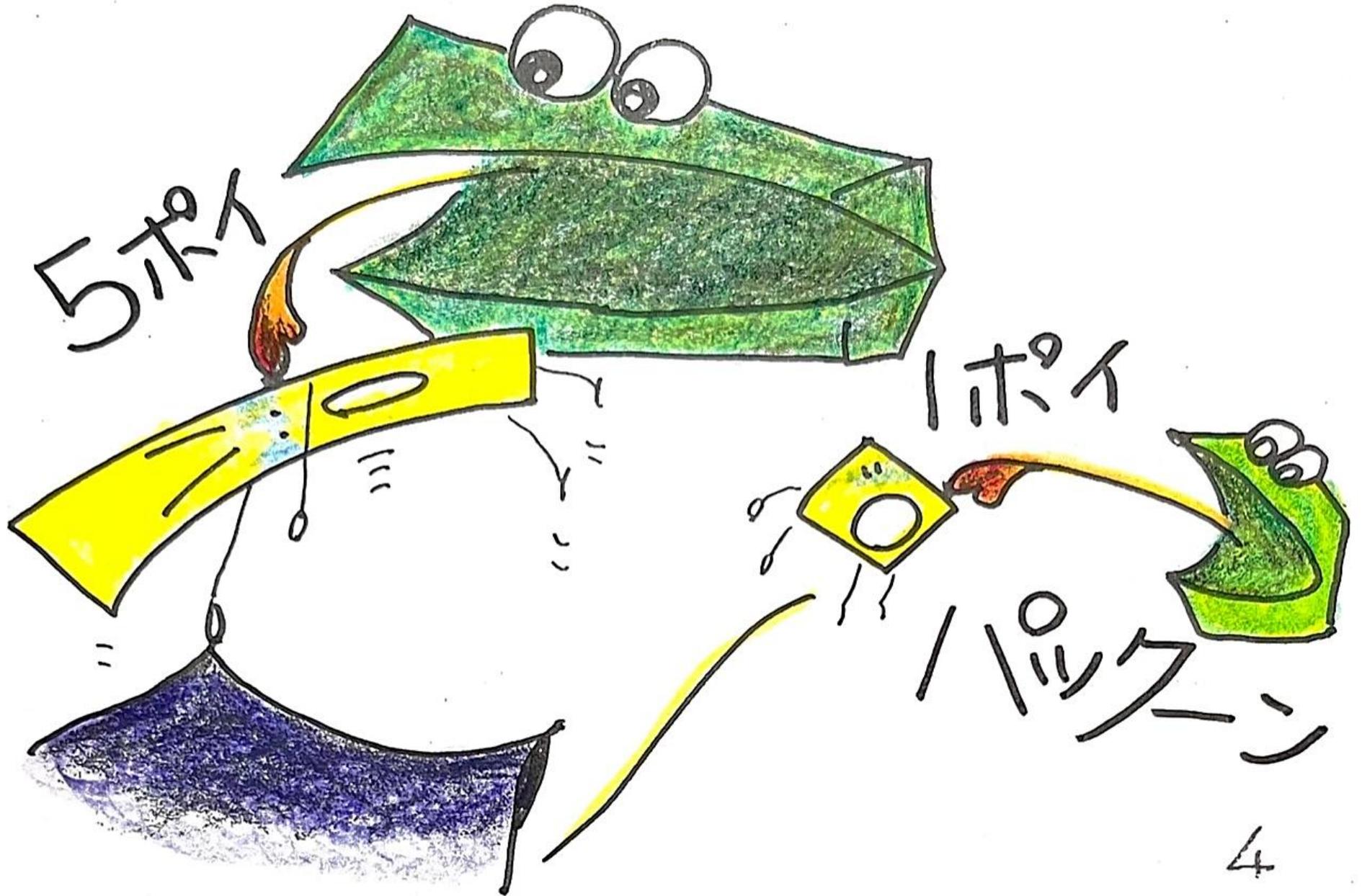
④ (③の裏)



「5ポイ、1ポイ パッターン！」

<カエルのベロ、すげー！>

④



⑤ (④の裏)



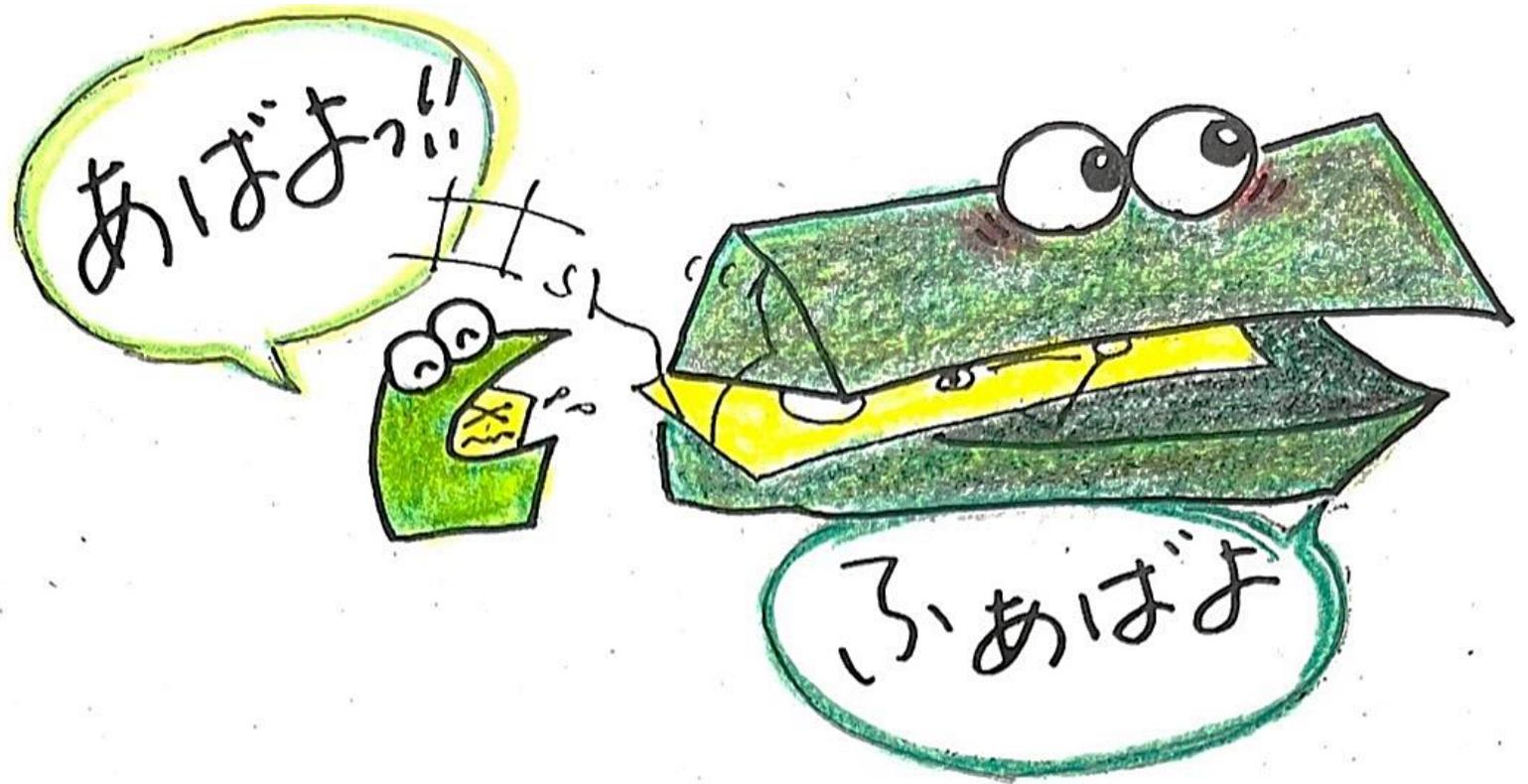
「ふあばよ。」

「あばよっ!!」

<あ～あ、つれていかれちゃうねー。>

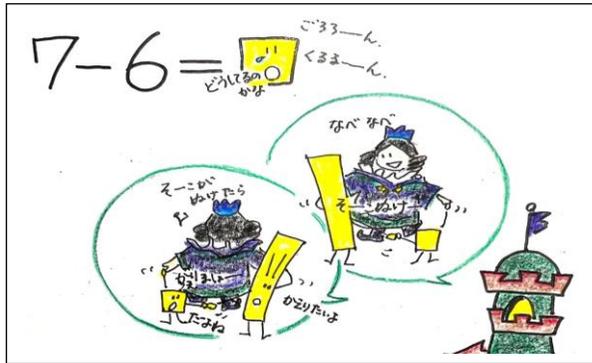
「の、のこっているのは?」

⑤



の、のこって  
いるのは?  


## ⑥ (⑤の裏)



<おうさまは たのしそうだけど、くるんたちは かえりたいんだねー。>

<5ポイ、1ポイだから、1くるんしか のこってないの、かわいそうだねえ。>

<はやく カエルで やりたいやりたい！>

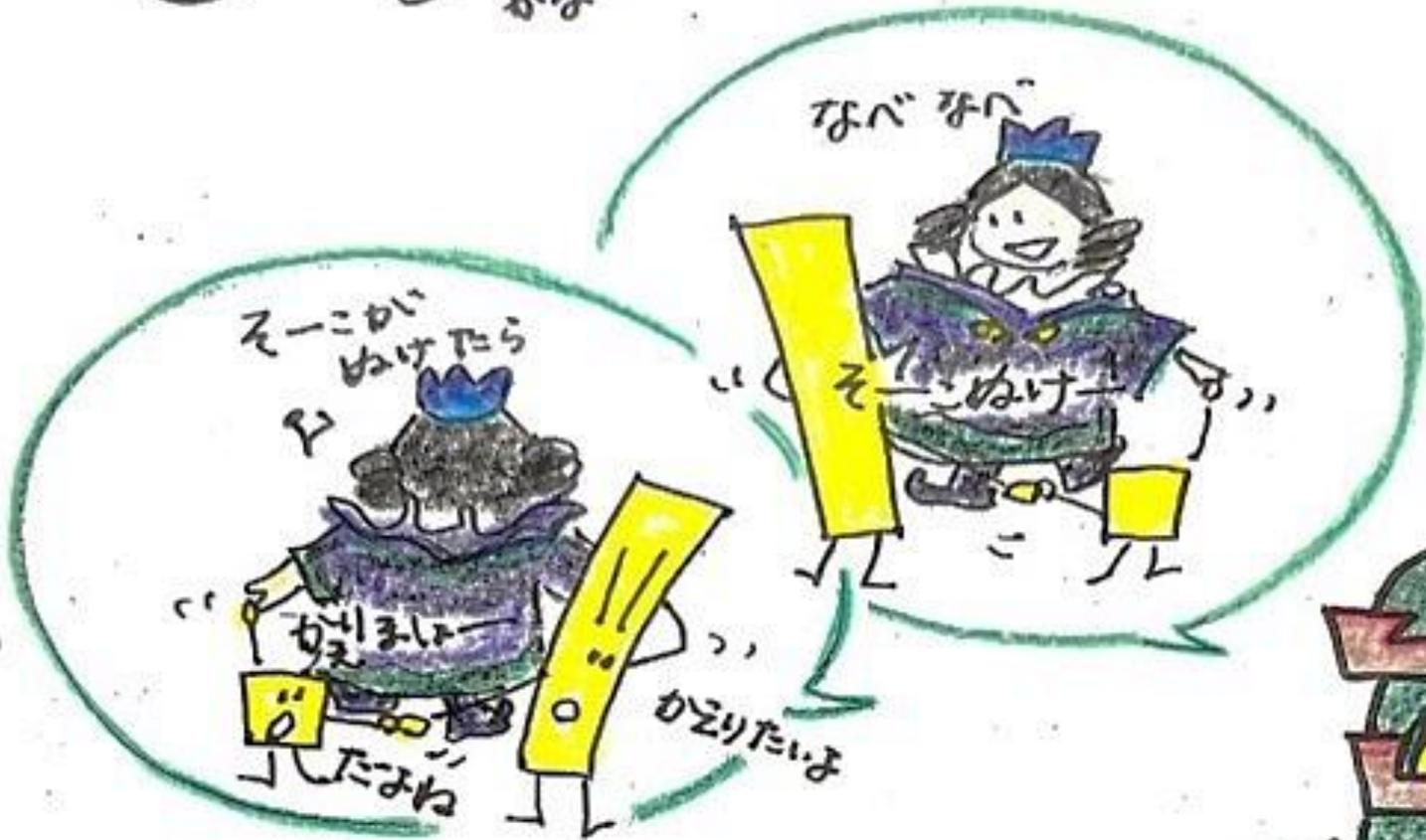
じゃあ やろうね。デカチビ出動の 問題は、どういふのがあるか？

**\*ブロックを手にとって、考え、王様劇場をやりながら、考えます。教具を動かすことで、考えることが可能になります。**

⑥

7-6 =  どうしてるの  
かな

ごきごきーん.  
くるまーん.



## ① (⑥の裏)



<青色>は子どもの反応の例

<「7-6」だって。>

今日のお話は、これ。だれか日本語に翻訳してくれないかなあ。

<いいよ。あのね、ごろろんと2くるるんが あそんでいたら、カエルが6ぴき  
きたおはなし。>

<だからさ、カエル 4ひきしか いないよ。> \*カエルは教具箱に4ひきしかいない。

<あっ、そうだった。あのでっかいやつと、チビガエルが1ぴきだ。>

この紙芝居は、子どもたちと一緒に、あなたが紡いでいくものです。一緒に絵を見て、子どもたちからお話を引き出していただきます。友だちや先生と一緒に絵を読み解き、自由に発言したり友だちの気づきに共感したりしながら、楽しんでいってほしいと願っています。

ト書きを読んでもらってもいいのですが、読むというよりは、目の前の子どもたちに語りかけるようにやってみてくださいね。